

- * 機械器具 03 医療用消毒器
* 管理医療機器 小型未包装品用高圧蒸気滅菌器 JMDN 40547020
* 特定保守管理医療機器 オートクレーブ BS-245

【警告】

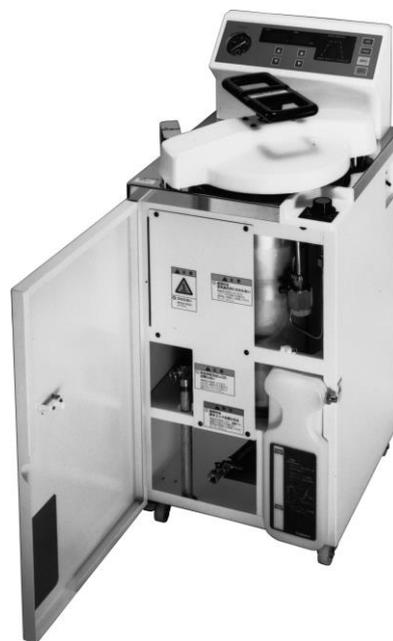
- 缶体フタを開けるときは、缶体内からの蒸気に十分注意すること。[缶体内から立ち上がる蒸気は非常に高温であるため、火傷や負傷の原因になります]
- 運転中に圧力計の指針が赤線部を指したら直ちに運転を中止すること。[部品の損傷、飛散による火傷や重傷事故の恐れがあり危険です。すぐに運転を中止し、販売店又は当社事業所にご連絡ください]
- 高温の液体は突然沸騰することがあるので注意すること。[液体は缶体内の温度よりも冷めるのが遅く、衝撃などをきっかけに突沸することがあります。不用意に取り扱くと火傷や思わぬ事故の原因になります]

**【禁忌・禁止】

- 圧力が0kPaで、温度が97℃以下になるまでは、缶体フタを開けないこと。[圧力の残っている時に缶体フタを開けると、被滅菌物や蒸気が吹き出し、死亡や重傷事故の原因になります]
- 運転中は前面扉を開けないこと。[扉内部は高温のため誤って触れると火傷の原因となります。また、誤操作によって熱水や蒸気が噴出する可能性があり非常に危険です]
- 排気ホースを折り曲げないこと。[排気がスムーズに行われないと圧力の異常上昇が起き、部品の損傷、飛散による火傷や負傷、重傷事故の原因になります]
- 引火性、爆発性のものを入れて使用しないこと。[火災や爆発の原因になります]
- 密閉されたものを滅菌しないこと。[取り出す際に破裂し、火傷や重傷事故の原因になります。また、缶体内圧力が異常上昇することがあり、部品の損傷、飛散による火傷や重傷事故の原因になります]
- ヒビやキズのあるガラス器具を滅菌しないこと。[取り出す際に破裂し、火傷や重傷事故の原因になります]
- スノコ付きステンレスバスケットを外して運転しないこと。[取り外して運転した場合、滅菌バックなど被滅菌物で排気穴がふさがると、缶体内の圧力を制御できなくなり、缶体破裂等の重大事故を引き起こす原因となります]
- 運転前に缶体フタを確実に閉めること。[閉め方が不十分だと、隙間から蒸気が吹き出し、火傷の原因となります]
- 繰り返し運転する場合は、缶体内温度が60℃以下に降下してから10分以上の間隔を開けること。[指定の間隔を保たずに運転すると、缶体圧力が異常上昇することがあり、部品の損傷、飛散による火傷や負傷の原因になります]
- 缶体内や滅菌用水が汚れたまま放置しないこと。[放置しておく、缶体の腐食・損傷の原因になります。また、水位センサー誤動作の要因となり、空焚き防止機能を低下させ、同時に空焚きの際の発火の原因となります]
- パッキンを缶体フタから無理に引き出したり、変形させたりしないこと。[蒸気漏れによる火傷の原因になります]

**【形状、構造及び原理等】

《本体外観図》



詳細は、取扱説明書の「2-2. 各部の名称と働き」を参照してください。

《本体の寸法及び質量》

- 外形寸法：400W×460D×920H (mm)
- 質量：50 kg

《電気的定格》

- 定格電圧：AC 100V
- 電源入力：15A
- 必要な電源：単相 AC 100V (50/60Hz) 15A

**《作動・動作原理》

運転を始めると、缶体内下部のヒーターで缶体内の滅菌用水を加熱し、蒸気を発生させます。加熱により発生した蒸気は缶体内の空気を押し出し、缶体内を温めます。缶体内温度センサーが所定温度まで上昇すると、所定時間、温度を維持します。この動作で缶体内の残留空気を排除します。さらに加熱すると、温度上昇に反応して弁が閉じ、連続して温度・圧力が上昇します。温度センサーの検知温度が設定した温度に達するとタイマーが作動を開始し、滅菌時間が経過するまで缶体内温度を設定温度で維持します。この工程で被滅菌物に与えた温度、湿度、時間の三要素によって滅菌作用は決まります。設定した滅菌時間が経過するとヒーターを止めます。缶体内温度が下がると弁が開き、缶体内は大気圧に戻ります。温度センサーの検知温度が60℃になると、全工程が完了となり、プザー

取扱説明書を必ずご参照下さい。

と表示灯で報知します。
装置に異常が発生すると、より安全な状態に移る動作をする
とともに、エラーコードの表示とブザーで報知します。

****《仕様》**

使用温度範囲（滅菌時）	105～123℃
時間設定範囲（滅菌時）	1～240 分間および連続
時間制御	マイクロプロセッサによる デジタル式
安全装置	缶体内過熱防止、缶体外壁過熱防 止、缶体内圧力異常上昇防止、温 度センサー断線検知、空たき防止、 漏電ブレーカー、安全弁
誤作動防止装置	滅菌用水不足、排気バルブツマミ 開閉確認、滅菌不良、缶体フタ開 閉確認

****【使用目的又は効果】**

微生物を不活性化するために用いる。
未包装の手術器具等、寒天（培地）及び薬液等の液体状の物質
を滅菌することを目的とする。

****【操作方法等】**

****《設置方法》**

詳細は取扱説明書の「3. 設置について」を参照してください。

直射日光の当たらない風通しの良い場所を選び、十分なスペ
ースを空けて設置する。

キャスターに付属するストッパーで設置位置を固定する。

《使用環境》

本機を使用する際には、下記の環境をお守りください。

- 周囲温度：5～35℃
- 相対湿度：30～85%
- 気圧：700～1060 hPa
- 傾斜：2度以内

《使用方法》

詳細は取扱説明書の「4. 操作の流れについて」及び「5. 操
作方法について」を参照してください。

- ① 電源スイッチ「入」
- ② 圧力計の確認
- ③ 回収ボトルの水量確認
- ④ 滅菌用水の確認
- ⑤ 被滅菌物の収納
- ⑥ 運転条件の設定
- ⑦ 運転開始
- ⑧ 運転終了
- ⑨ 被滅菌物の取り出し
- ⑩ 滅菌用水の排水
- ⑪ 電源スイッチ「切」

【使用上の注意】

詳細は取扱説明書の「1. 安全にお使いいただくために」を参照
してください。

- ・ 運転中は蒸気排出口周辺からの蒸気に注意すること。
- ・ 排水は滅菌用水が十分冷めてから行なうこと。

****【保管方法及び有効期間等】**

耐用期間 7 年 [自己認証（当社データ）による]

【保守・点検に係る事項】

《使用者による保守点検事項》

詳細は取扱説明書の「7. 保守点検について」を参照してくださ
い。

1. 本体の清掃と消毒
本体外装や缶体内が汚れたら、清掃、消毒を行なう。
2. ベローズの交換
ベローズ表示灯、及び本機の動作状態に応じて交換する。
3. 一週間ごとに行なう保守点検
一週間を目安として、本機各部の清掃と点検を行なう。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：トミー工業株式会社

住 所：福島県石川郡浅川町大字簗輪字山敷田 62

電話番号：0247-36-3160

製 造 業 者：トミー工業株式会社

住 所：東京都練馬区田柄 3-14-17

電話番号：03-5987-3350

販売業者の連絡先